

2025年10月2日

10月9日（木）、相鉄本線 相模大塚駅構内にて 「異常時総合訓練」を実施 踏切障害事故を想定、大和市消防本部・大和警察署と共同で

相模鉄道株式会社

相鉄グループの相模鉄道株（本社・横浜市西区、社長・千原 広司）は、10月9日（木）に相鉄本線 相模大塚駅構内（大和市桜森）で「異常時総合訓練」（以下、同訓練）を実施します。

近年では自然災害や列車のトラブルに起因する事案が発生しており、これまで以上に鉄道をご利用いただくお客さまの安全確保が最重要課題となっています。同訓練は、お客さまの安全を最優先とする避難誘導をはじめ、関係各所への連絡と通報による情報伝達、負傷者の救出や現場の復旧作業などを、重大事故の一つである踏切障害事故を想定して実施します。これにより、重大事故や輸送障害など、異常時に対応する消防および警察との連携強化や、事故処理技能の向上を図ります。

今回「下り特急列車が瀬谷駅～大和駅間の踏切でトラックと衝突し、列車が脱線した」という想定のもと、約200人（相模鉄道：約180人、大和市消防本部・大和警察署：約20人）が参加し、事故に遭った列車内からお客さまを避難誘導する訓練や、脱線した車両をレールの上に戻す復旧訓練などを実施します。

相模鉄道では、同訓練以外にも、日々の業務訓練や業務研究会をはじめ、「津波対応訓練」「トンネル内列車火災避難誘導訓練」「粗暴犯対応訓練」などを毎年計画的に実施しています。今後もお客さまの安全確保を第一とし、安全・安心に相鉄線をご利用いただけるよう、全社一丸となって取り組んでまいります。

概要は、別紙のとおりです。



「異常時総合訓練（2024 年度）」
お客さま避難誘導訓練の様子



「異常時総合訓練（2024 年度）」
損傷箇所の早期復旧訓練の様子

「2025年度 異常時総合訓練」の概要

1. 名称

「2025年度 異常時総合訓練」

2. 日時

2025年10月9日（木）10時00分～12時45分

【予備日：10月23日（木）10時00分～12時45分】

3. 場所

相鉄本線 相模大塚駅構内（大和市桜森3-1-1）

4. 参加人員

約200人【相模鉄道㈱、大和市消防本部、大和警察署】

5. 使用車両

21000系車両（予定）

※使用車両は、運用の都合により、変更になる場合があります。

6. 事故想定

横浜駅発海老名駅行きの下り特急列車が、瀬谷駅～大和駅間にある踏切を通過する際、遮断桿を突破して踏切内に進入してきたトラックと衝突し脱線。車両床下から発煙があった。

このため、一部の車両機器、電車線、線路が損傷し、踏切保安装置が倒壊した。一方、衝突したトラックは、上り線路側に跳ね飛ばされ破損・発火した。この事故により、列車内のお客さま数人が負傷するとともに、トラックの運転手が負傷した。

7. 主な訓練内容

①併発事故防止訓練

②情報収集・情報伝達訓練・通報訓練

③消防・警察との連携による負傷者の救出および避難誘導訓練

④損傷箇所の早期復旧訓練



「異常時総合訓練」で使用予定の
「21000系」